

神奈川移行教育をすすめる仲間の会

ニュース NO 30 2019.10.2

発行者：「神奈川県移行教育をすすめる仲間の会」運営委員会

TEL 045-228-7704 FAX 045-228-7717

Eメール：i-kngw@chime.ocn.ne.jp

すべての准看護師を看護師に

学習会参加者の施設訪問

過去5年間に、仲間の会の学習会(小論文・夏季集中講座)に参加していただいた・送り出していただいた施設の看護部長など責任者にお礼を含めて訪問しました。現在まだ途中ですが、アポイントなしにも拘らず6施設の看護部長・担当者の方に対応いただきました。ありがとうございました。

頂いたお話の一部を紹介します。



学習会のお知らせが届いた物は皆さんにお知らせします。(お知らせは施設宛には出していないが知人から)今後も皆さんにお知らせします(老健施設)

現在2年課程通学生1名、病院で学費・通学費・奨学金、通学は勤務保障。全員看護師になってほしい。

前看護部長が『全員看護師に』との方針。踏襲している。常勤の准看護師はいない。パートの准看護師に声はかけているが、経済的なこと、家庭的な事で厳しい実態。

正規職員で60歳前後の人が数名。パートで数名。何とか進学してほしいと声はかけているが、年齢だからと...。若い人は妊娠・出産、子育てで難しいと。全員看護師が望ましい。

准看護師は数名。進学を考えている人もいる。介護職とチームで仕事をしている。自分自身も2年課程卒業なので准看護師と看護師の制度の矛盾も体験。

全員看護師に基本。できるだけ看護師の資格を。現在の法律では業務で区別せざるを得ない状況。リーダー・学生指導、プリセプターなど。制度上の矛盾



看護基礎教育は3年ではなく4年に検討が進められていますが、看護師不足を補うとして中学校卒業後2年間の准看護師制度(発足当時から看護師に一本化の声が噴出)をなくすべきです。

神奈川県は厚労省に准看護師養成停止すべきと意見をあげています。(神奈川県内は実質的には准看護師養成施設は募集はありません)

仲間の会は、対県交渉(11月に予定)、厚労省交渉にも参加し、皆さんの声、施設の看護部長さんの声を届け、全ての看護師を看護師にと訴え続けていきます。

神奈川県との交渉に参加していただける方は日程の問い合わせは上記 仲間の会にご連絡・問い合わせをお待ちしています。

小論文学習会参加者からうれしい報告



2年課程通信校受験 の要・小論文

2月・5月・6月と開催した小論文学習会に参加した仲間から2年課程通信養成校に合格しましたとうれしい報告がありました。その仲間の声を紹介します。(ごく一部分)

小論文は書いたことがなく、何が何だかほんぶんかんぶん。学習会に参加して、どうして看護師になりたいの?今職場で働いていて感じている事を考える、書き出してみる事からといわれてもまだ何となく。でも課題を書いて、何度も添削してもらった中で、ようやく、講師(永田先生)の言っていたこと、私の看護師になりたい意気込みを文字にすることの意味が分かりました。

小論文って作文や日記とも違う。まずは自分の看護・日常を整理する、振り返ってみると言われ、その時はふんふんとわかったようなつもりで。でもいざ、提出用にと与えられた課題に取り組むと何か違う。私の思いなどを学習会で話し、整理し、書いていく中で、先生から、私の思いをどう小論文にしていくのかを添削していただいたんだなど実感しました。苦しんで悩んで何度も添削してもらってよかった。

放送大学夏季集中講座5科目ヤッタ!!

7月28日朝9時過ぎから18時過ぎまで、5科目。

小児・野中先生、精神・榊先生、成人・老年・間瀬先生、母性・谷口先生と県立保健福祉大学の教授5名の講義です。

放送大学夏季集中講座の学習は本試験の前の中間レポートについての学習から始まります。1科目90分という限られた時間で、設問の回答を導き出す根拠をテキストを参考に。

途中で先生からの質問、受講生の疑問の場面も。

現在の看護の経験、社会経験を生かし、冷静に考えること。

基本を押さえること、今の社会的ニーズも視野に。

中間レポートから本試験に。そして目指すは国家試験にと、先生たちの熱のこもった講義。勉強のコツ、試験の傾向ととても有意義な抗議。

受講生は熱心に。長丁場なのに…ZZZ…の人はいません。みんな必死。

運営委員も最新の中身を学習できてハッピー。

長く科目数も多いので、2日に分けますか?のアンケートには『きついけど1日で』が多くありました。

☆講師の先生からは、看護師が基本なのにの声がありました。

☆皆よく頑張るね、皆さんの希望があれば私たちはお手伝いしますとの言葉も。



仲間の会は全ての准看護師を看護師にと
みなさんと一緒に進みます
学習支援も引き続き。今後もネ

